

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年4月26日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年4月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5号機非常用ディーゼル発電機(B)過給機出口配管の浸透探傷試験における指示模様の確認について】 当社社員が5号機非常用ディーゼル発電機(B)点検において、過給機出口配管に水滴を確認したことから保温材を取り外したところ、当該配管に未燃焼ガスによるものと思われる漏えい痕を確認したため、浸透探傷試験を行った結果、指示模様が確認された。 指示模様が確認されたことにより、当該の過給機出口配管について新品と交換を実施。 交換後の非常用ディーゼル発電機の試運転において漏えい確認を行った結果、異常なしを確認。</p>	GⅢ	4月22日
2	<p>【3号機起動変圧器(B)からの絶縁油の漏えいについて】 当社社員が巡視点検において、3号機起動変圧器(B)の変圧器本体と油冷却器を繋ぐ配管溶接部から油が漏えいしていることを確認。 なお、漏えいした絶縁油については、PCB濃度0.6ppmであるため、低濃度PCB含有絶縁油である。 当該漏えい箇所について、応急処置として補修処理を実施し、鉛筆芯1本から2秒に1滴程度に減少を確認。 原因は、腐食と推定。 今後、補修工事予定。</p>	GⅢ	4月21日
3	<p>【露出している3号廃棄物処理建屋滞留水水位(3W-8)計の水位指示変動について】 露出している3号廃棄物処理建屋滞留水水位(3W-8)計の水位指示が、トレンド上で変動していることを運転員が確認。 実水位と比較したところ変動量より、短時間の変動では考え難い値であるため、当該水位計の故障と判断。 水位監視を強化するとともに、当該エリアの水位は評価値で管理することとした。 今後、当該水位計を交換予定。</p>	GⅢ	4月22日